

びわこ文化公園 3館連携事業

滋賀県埋蔵文化財地域展 V 瀬田丘陵編

# ひととしぜん 人と自然

## —瀬田丘陵の開発史—

せたきゅうりょうのかいはつし

**瀬田丘陵**は、古代近江の中心地でした。  
—なぜこの丘陵は、中心地として発展したのか？  
この地の開発の歴史をたどります。

会期 令和5年  
7/22(土) ~ 11/12(日)

瀬田丘陵



しがぶんちゃん  
& どきっち

入場料 **無料**  
会場 **滋賀県埋蔵文化財センター**  
大津市瀬田南大萱町 1732-2(びわこ文化公園内)  
休館日 **土・日・祝日**  
9/2までは無休  
および 10/28、11/3~5、11/11・12は開館  
開館時間 **9:00 ~ 17:00** 入館は 16:30 まで  
主催 **公益財団法人滋賀県文化財保護協会**  
後援 **滋賀県・大津市・草津市教育委員会**

## 瀬田丘陵での発掘調査の様子



鉄を作る工房跡などを発見（木瓜原遺跡 / 草津市）

写真：滋賀県提供



写真：滋賀県提供

陶棺（横尾山7号墳 / 大津市）



出土した皇朝十二銭（北萱遺跡など） 写真：滋賀県提供

## 森を拓いて発展した、瀬田丘陵の開発史をひもとく

滋賀県立美術館、滋賀県立図書館、そして滋賀県埋蔵文化財センターの3館が所在するびわこ文化公園は、琵琶湖の南端部、自然の豊かな瀬田丘陵の上に位置しています。

自然が広がっていたと考えられる瀬田丘陵一帯は、今から約1,400年前ごろに急速に開発が進んでいきます。ここでは須恵器、鉄など、さまざまなモノが生産され、今でいう工業地帯として発展していきました。また、現在の県庁に相当する「近江国庁」が置かれ、そのそばには都と東国を結ぶ道「東山道」がとおり、この地は生産・流通の拠点

であるとともに、古代近江国の政治の中枢としても発展していったのです。

このような瀬田丘陵の開発の歴史をひもとくと、当時の人々がこの地の自然や地理的な特性を巧みに利用し、開発を行なってきたことがわかります。今回の展示では、瀬田丘陵と周辺エリアの発掘調査成果から、人と自然がどのように関わり、開発し、現代にまで歴史を紡いできたのかを紹介します。



### 関連イベント

#### ① びわこ文化公園 3 館連携 共同講演会

「ヒトと自然のかかわりから見た近江 瀬田丘陵の歴史的特性」

講師：堀 真人（当協会 本展担当）会場：滋賀県立美術館・木のホール

9/2(土) 14:00～15:30（聴講無料 / 事前申込不要 / 先着 70 名 / 詳細は後日協会 HP でお知らせします）

#### ② ギャラリートーク

毎年好評！京都橘大学学生によるギャラリートークを開催！

8/11(金・祝) 14:00～（聴講無料 / 事前申込不要）

#### ③ 学生による展示解説

こちらも人気！学生が丁寧に展示解説をします！

いろいろ聞きたい！という方は、展示会場で声をかけてみてください。

7/22～8/31 の期間のうち、**土日祝日限定**で随時実施！

（聴講無料 / 事前申込不要）

（不明な点がございましたら、下記のお問い合わせへご連絡ください。）



### ホームページをチェック!!

当協会の HP をリニューアルしました。

最新のイベント情報や、文化財にまつわる読み物「シガブンシンブン」、動画チャンネル「しがぶんちゃんねる」など、随時更新しています！

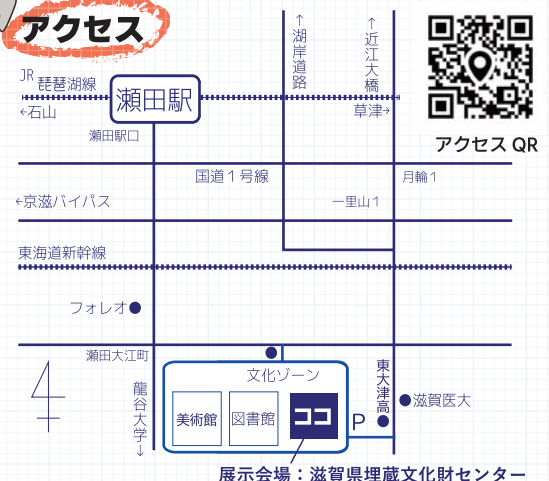


←当協会 HP

しがぶん  
ちゃんねる  
(YouTube)



### アクセス



### お問い合わせ先

公益財団法人 滋賀県文化財保護協会

TEL: 077-548-9780（平日 8:30～17:15）

大津市瀬田南大萱町 1732-2（滋賀県埋蔵文化財センター内）

URL: <https://shiga-bunkazai.jp/>